

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p.6~7

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈導入〉 「つばさをください」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 曲の気分を感じ取って歌う。</p> <p>2. 前半と後半の旋律の流れを比較する。 【知-①】 「つばさをください」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 【主-①】 「つばさをください」の歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>3. 後半の下声部を歌い、二部合唱する。</p> <p>4. 二部合唱をまとめる。 【思-①】 「つばさをください」の旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 8

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 ワイバンバ (毎時扱い)	(1) 曲想と、旋律や音楽の縦と横との関係など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音楽の縦と横との関係などの音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 範唱を聴き、大まかに曲の感じを捉える。 【知-①】 「ワイバンバ」の曲想と、旋律や音楽の縦と横との関係などの音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>2. フレーズのまとまりを意識し、音の高さやリズムに気を付けて旋律を歌う(ユニゾン)。 3. 互いの歌声を聴き合いながら、カノン(輪唱)で歌う。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、声を合わせて歌う技能を身に付けている。</p> <p>4. 曲の特徴を捉えたり、輪唱のよさを味わったりしながら、歌い方や声の出し方を工夫して、カノン(輪唱)で歌う。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 旋律、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「ワイバンバ」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p.9

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 言葉をもとにリズムで遊ぼう (2時間＋毎時扱い)	(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。			○	
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. テーマから言葉を探し、リズム表現をする(つくる)。 2. 選んだ言葉のリズムを繰り返して重ねる。始めや終わり、休符や反復回数など全体のまとまりを考えて工夫する。 【知-①】 リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。 3. 速度・強弱・(音色・音高・アーティキュレーション)を変化させて曲想を工夫して演奏する。 【思-①】 リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 4. 言葉のリズムを、体から出せる音を探して鳴らす。 5. 言葉のイメージやリズムの特徴に応じた、楽器・奏法を選び演奏する。 【主-①】 言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 6. 動きを加えたり、木琴やリコーダーの五音音階で行ったりして発展させることができる。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 10~13

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「おぼろ月夜」(共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 範唱を聴き、大まかに曲の感じを捉える。</p> <p>2. 歌詞の言葉について、注釈を参考にして内容を理解する。</p> <p>3. 教科書の写真などをもとに、情景を思い浮かべて歌う。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。</p> <p>4. 歌詞のもつリズムに注目しながら、歌詞を音読する。</p> <p>5. 旋律のもつリズムや流れ、旋律のまとまりについて考える。 【知-①】 「おぼろ月夜」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>6. 4・5で気付いたり感じたりした、歌詞のリズムと旋律のリズムとの関わりや、歌詞と旋律の流れとの関わりを生かして、歌い方を工夫する。 【思-①】 「おぼろ月夜」の旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 「おぼろ月夜」の歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 14~15

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
1 短調のひびき (3時間扱い・4~5月)	(1) 曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。			○			
	(2) 調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたりしている。			○	○
(3) 長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に対する感性を育む。	主体的に学習に取り組む態度	長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、調、和音の響き、変化などが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫したり、曲全体を味わって聴いたりする。	マルセリーノの歌 ◎ハンガリー舞曲 第5番	○「マルセリーノの歌」を演奏し、イ短調とハ長調の違いについて理解する。 ○「マルセリーノの歌」をパートに分かれて練習し、合奏する。 ○調性の変化に気付いて「ハンガリー舞曲 第5番」を聴いたり、「マルセリーノの歌」を合奏したりする。	【知-①】「マルセリーノの歌」の曲想と、調など音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主-①】 「マルセリーノの歌」の長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたりしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 16~19

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
2 アンサンブルのみりよく (5時間扱い・5~6月)	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				○

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と強弱などとの関わりについて理解するとともに、演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎交響曲第5番「運命」第1楽章から	○交響曲第5番「運命」第1楽章をオーケストラの響きを感じ取り、「タタタターン」の音型を意識しながら聴く。 ○冒頭を、数種類の演奏で比較鑑賞したり、第1楽章全体を演奏表現に気を付けて聴いたりする。	【知-①】「交響曲第5番」の曲想と、強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けるとともに、旋律や音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	ぼくらの日々	○「ぼくらの日々」を、曲の特徴を捉えて二部合唱する。 ○自分たちの表現を目指して合唱する。	【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。 【思-②】「ぼくらの日々」の旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 20~21

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(めざせ 楽器名人) 「The Sound of Music」 (毎時扱い・6~7月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。		○		
	(2) 旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダー・アンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. 「The Sound of Music」の大まかな曲想を捉える。
2. 上声部を演奏する。
3. 下声部を演奏する。
4. 二部合奏をする。
 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。
 【主-①】 声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
5. グループに分かれて表現を工夫しながら演奏する(二部合奏または二重奏)。
 【思-①】 旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
 ・グループの発表を互いに聴き合う。
 【知-①】 「The Sound of Music」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 22～25

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 われは海の子(共通教材) (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 範唱を聴き、大まかに曲の感じを捉える。</p> <p>2. 歌詞の言葉について、注釈を参考にして内容を理解する。</p> <p>3. 教科書の写真などをもとに、情景を思い浮かべて歌う。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。</p> <p>4. 歌詞のもつリズムに注目しながら、歌詞を音読する。</p> <p>5. 旋律のもつリズムや流れ、旋律のまとまりについて考える。 【知-①】 「われは海の子」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>6. 4・5で気付いたり感じたりした、歌詞のリズムと旋律のリズムとの関わりや、歌詞と旋律の流れとの関わり、盛り上がりを生かして、歌い方を工夫する。 【思-①】 「われは海の子」の旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 「われは海の子」の歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 26～29

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	りづ音 く楽	鑑賞
3 せん律のひびき合い (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。	知識・技能 曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。			○	
	(3) 旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多声音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
4	曲想と旋律や音の重なりなどとの関わりについて理解するとともに、音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	ロック マイソウル カノン ◎カノン	○「ロック マイソウル」をグループに分かれて歌う。 ○鑑賞曲「カノン」を聴いて、気付いたことを発表する。 ○「カノン」の各声部を演奏する。 ○「カノン」を8～10人ずつのグループに分かれて合奏し発表する。	【主-①】「ロック マイソウル」の旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。 【知-①】「カノン」の曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、「カノン」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 30~31

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 音楽のききどころ (3時間扱い・10月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴く。	思考・判断・表現	音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴いている。				○
	(3) 楽器同士の関わり合いや、曲想を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンとピアノのアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器同士の関わり合いや、曲想を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と、旋律や音色などとの関わりについて理解するとともに、楽器の音色や楽器どうしの関わり、旋律の反復や変化が生み出すよさなどを感じ取りながら聴く。	◎バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章	○「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」の前半部を、曲の特徴やバイオリンとピアノの関わり合いに気を付けながら聴く。 ○音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表し、曲の面白さや特徴を理解する。 ○曲想やその変化などの特徴や、音楽を形づくっている要素などとの関わり合いに気を付けて全曲通して聴き、気付きを交流したり感想をまとめたりする。	【知-①】「バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】 楽器同士の関わり合いや、曲の特徴を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 32～33

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
5 豊かな表現 選択A 歌唱 (3時間扱い・10～12月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○		
(3) 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、旋律や音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	明日を信じて	○「明日を信じて」の旋律の流れを捉え、歌詞との関わりを生かして歌う。 ○アイウの部分ごとに、どのように歌っていくか考えて二部合唱する。 ○合唱を仕上げ、響き合いを楽しみながら歌う。	【知-①】「明日を信じて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 【思-①】「明日を信じて」の旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【主-①】 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 34～35

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
5 豊かな表現 選択B 器楽 (3時間扱い・10～12月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能		○		
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現			○	
	(3) 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律や音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	L-O-V-E	○「L-O-V-E」の主旋律と副次的旋律の部分をつまみ演奏する。 ○各パートの音や役割を確認し、グループに分かれ、担当を決めて演奏する。 ○グループごとに発表したり、各グループを続けて演奏したりする。	【主-①】 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「L-O-V-E」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「L-O-V-E」の、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 36～37

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう (2時間扱い・12月)	(1) 和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	知識・技能	和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて理解している。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	思考・判断・表現	和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。			○	
(3) 和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、循環コード(繰り返す和音進行)の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

- 「カノン」について振り返り、循環コードについて知る。
- 「つばさをください」の後半部分や、「音楽のおくりもの」の最初の部分などを、「カノン」の低音と和音(教科書p.34)に合わせて歌ってみて、同じコード進行の繰り返しをもとにしている曲がほかにもあることを知る。
- 「じゅんかんコードの例」(C-Am-Dm-G)を演奏して、響きやその流れを聴き取る。
- 「じゅんかんコードの例」に、教科書p.35の旋律を合わせて演奏してみる。
- 一人ずつ、即興的に旋律を変化させて、様々な表現を試す。
- 教師の和音と低音の伴奏に合わせて、一人ずつアドリブでリレーをしていく。
【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。
- 【知-①】 和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて理解している。
- グループに分かれ、低音、和音、旋律の担当を決め、演奏する。
- 旋律の担当は、旋律のリズムを変えながら交代でアドリブ演奏する。慣れてきたらみんな→一人(アドリブ)→みんな… の順で演奏する。終わり方を考えておく。
【思-①】 和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。
- グループごとに発表する。
【主-①】 和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 38～41

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
6 世界の音楽 (4時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏したりするう技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。			○	
(3) 諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。					○

○＝本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	いろいろな国の音楽の、様々な旋律や音色、音の重なりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見いだして聴くとともに、諸外国に伝わる音楽の特徴や人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎世界の声の音楽 ◎世界の楽器のひびき	○世界のいろいろな国の音楽(声)を鑑賞し、それぞれの音楽や表現のよさや面白さを味わう。 ○声や楽器のなかから一つ選んで、よさや面白さについて発表する。	【主-①】 諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 いろいろな国の音楽の旋律や音色、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。
2	諸外国に伝わる音楽を歌う活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりについて理解したり、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けたりする。	チャウエ チチョー チェム チェロ ウェンセスラスはよい王様 (どちらかを選択)	○2曲ある教材からどちらかを選択して学習する。 ○各声部に分かれて演奏し、合奏する。 ○各声部や伴奏をよく聴いて、それぞれの役割や音を合わせたときの効果などについて話し合う。	【知-①】 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 42～45

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
7 日本の音楽 (4時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったりしている。	○	○		○
(3) 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもつとともに、曲想と旋律や音色などとの関わりについて理解する。	◎春の海	○「春の海」を、雰囲気を感じ取り、楽器の音色に気を付けて聴く。 ○旋律の変化と再現に注目して聴いたり、曲全体を味わって聴いたりする。	【主-①】 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「春の海」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-②】 「春の海」の旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。
2	旋律や音の重なりが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	◆越天楽今様(共通教材)	○「越天楽今様」のうたの旋律を、情景を思い浮かべ、呼吸や発音に気を付けて歌う。 ○グループに分かれて表現の工夫をしたり、全員で合奏したりする。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思-①】 「越天楽今様」の旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 48～50

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
8.思いをこめた表現 選択A「ふるさと」+ 器楽 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
1	曲想と旋律や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	◆ふるさと(共通教材)	○「ふるさと」を、旋律の流れやまとまり、歌詞との関わりを生かして二部合唱する。	【知・技-①】「ふるさと」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	旋律や音色などが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	Take Me Home, Country Roads (ふるさと)	○「Take Me Home, Country Roads」を、パートの役割を捉えて二部合奏する。 ○ペアやグループで発表し、学習を振り返る。	【主-①】「Take Me Home, Country Roads」の曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「Take Me Home, Country Roads」の旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 48～49、51

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8思いをこめた表現 選択B「ふるさと」+歌唱 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
1	曲想と旋律や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	◆ふるさと(共通教材)	○「ふるさと」を、旋律の流れやまとまり、歌詞との関わりを生かして二部合唱する。	【知・技-①】「ふるさと」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	旋律や音色などが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	さようなら (ふるさと)	○「さようなら」を、曲の特徴を捉えて二部合唱する。 ○自分たちのイメージに合う表現を工夫して歌い合わせる。	【主-①】「さようなら」を、曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「さようなら」の旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p.52～53

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 役割を決めて音階を もとにした音楽を つくろう (3時間扱い・3月)	(1) 音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。			○	○
	(2) 音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。			○	○
	(3) 役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、全音音階や黒鍵だけの五音音階に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. ア・イそれぞれで使われている音階について知り、音階の響きを聴き比べる。(「帆」を鑑賞してもよい。)</p> <p>2. 4人で一つの楽器を使い、①～④の役割を分担する。役割とそれぞれの音型、使用音と鍵盤の位置を確認する。</p> <p>3. アの部分の音で、①から演奏を始め、②、③、④の順に音を重ねていく。このとき③と④は、短い旋律で交互に呼びかけ合う。</p> <p>4. イの部分の音で、同様に演奏する。</p> <p>5. ①の演奏するアとイの音の違いをほかのパートの人も聴いて確認し、①がアからイに音を変えたら、他も変わっていくことを理解する。実際にア→イ→ア→イ～と続けてみる。</p> <p>【知-①】 音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。</p> <p>【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。</p> <p>6. 速さや強弱、終わり方について試行錯誤し、全体をまとめていく。始め方もさらに工夫してもよい。</p> <p>【主-①】 役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>7. 途中で一度中間発表し、それぞれの工夫を確認してから、さらに試行錯誤するとよい。</p> <p>8. グループごとに発表して聴き合う。(最後に「帆」を鑑賞してもよい。)</p> <p>【思-①】 音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画(案)

6年 p. 54～55

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈ジャズとクラシック音楽の出会い〉 ラブソディー インブルー (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。				○
	(2) 旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴いている。				○
	(3) ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ピアノとオーケストラによる音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 曲を聴き、曲の感じや聞こえてきた楽器など、特徴について気付いたことを出し合う。 【主-①】 ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>2. ジャズの特徴を感じ取って聴く。 【知-①】 「ラブソディー インブルー」の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>3. ピアノとオーケストラのかけ合いの面白さや、曲の特徴を感じ取りながら、曲全体を聴く。 【思-①】 「ラブソディー インブルー」の旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴いている。</p>